

6年間のカリキュラム



基礎的な歯科医学を総合的・複合的に学ぶ
幅広い教養の知識と

学生インタビュー

Student Interview

現在、松戸歯学部3年次生として学んでいます。1年次では生物学、数学、物理学などの基礎科目や歯の解剖学を学修し、大学で専門的な学問を学ぶための切り替えの時期でした。2年次に進級すると、履修科目が大きく変わり、薬理学、組織学、微生物学などの専門的な内容を学ぶようになりました。特に、解剖学では人体の構造かつ生命の尊さを学べる貴重な機会となりました。

2年次から、新しい校舎に移りました。学生たちが勉強し交流できるスペースのラーニング・commonsがあり、最新の設備が整った環境で学修できることが、とても嬉しく思っています。

また、松戸歯学部における大学生活で、様々な学会や研究に参加する機会がたくさんありました。昨年4月から放課後の時間を活用し、自分が興味を持つ研究プログラムに参加し、8月に日本歯科医師会主催の歯学生の研究発表会であるSCRPで優勝しました。先生と先輩方のご支援のおかげで海外へ行く貴重な機会を得ました。これからも知識と技術を磨き、6年間の課程をストレートで卒業し、歯科医師として社会に貢献できるように努力していきます。

ジベク アイデンさん(3年次生)

学びの特色

Featured Learning

歯科矯正学



講義と実習を行いながら学修を進めます。講義では、歯科矯正学の歴史と定義、正常咬合、不正咬合の原因および予防などを学びます。実習では、不正咬合の治療がどのような装置によって行われるか、また、歯がどのように動くのかについて、実際の矯正器具を使いながら理解を深めます。

高齢者歯科学



現代の超高齢社会において、高齢者に関する歯科医学、歯科医療の知識は非常に重要なものとなっています。高齢者歯科学では、加齢による口腔内の変化をはじめ、高齢者をとりまく社会経済的環境、保健福祉制度をはじめとした、超高齢社会における歯科医師に必要な知識、技能を学修します。

4年次前学期の時間割 (令和7年度 参考)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	障害者歯科学	高齢者歯科学	口腔顎顔面外科学	総合医学 [有病者歯科検査医学]	小児歯科学
2	歯科矯正学	歯科保存学2		総合医学 [内科系]	歯科補綴学2 [クラウン・ブリッジ補綴学]
3	歯科矯正学 (実習)	社会歯科学	歯科保存学2 (実習)	歯科医学総合講義4	歯科補綴学2 [クラウン・ブリッジ補綴学] (実習)
4		歯科補綴学2		医療行動科学4 [歯科臨床判断学]	

教員からのメッセージ

Message from the teacher

1年次では一般教養科目を中心に学びますが、歯科医療の基礎を築く「歯の解剖学」や、医療従事者としての倫理観を養う「医療行動科学」といった専門科目も含まれています。これらは、医療従事者としての視野を広げる重要な第一歩です。

2年次には「解剖学」、「生理学」、「組織・発生学」など、体の構造と機能を深く理解する基礎医学の学びが本格化します。また、「歯科材料学」や「生化学」、「薬理学」の基礎を学ぶことで、歯科診療の技術的な側面を支える土台を形成

します。

3年次になると臨床系の講義や実習が始まり、診療に必要な技術を実践的に学びます。ここでは、患者対応や症例分析のスキルが求められるため、1・2年次に培った基礎力が試されることになります。

4年次では、総合的な歯科医学知識をもとに、国家試験対策を含むより高度な専門教育が行われます。また、OSCE(客観的臨床能力試験)やCBT(コンピュータを使用した試験)といった共用試験の準備を進め、臨床実習への橋渡しとなる包括的な学びが求められます。

1～4年次生の学びは、歯科医療の専門家として患者の健康を守る使命を果たすための準備期間です。基礎から専門へと段階的に学びを積み重ねるプロセスは、必ず将来の大きな力となります。困難な局面もあるでしょうが、志を持ち、目標に向かって努力を続けてください。皆さんが立派な歯科医師として活躍する日を楽しみにしています。

伊東浩太郎 准教授



付属病院での臨床実習

全国トップクラスの来院患者数を誇る



学生インタビュー

Student Interview

松戸歯学部では、5年次から付属病院での臨床実習がスタートし、実際に患者さんと接することで歯科医師として必要な知識や臨床能力を深める機会がはじまります。

実習は各診療科で一定期間行われるため、専門的な知識を体系的に学ぶことが可能です。4年次までは座学中心で知識を蓄えることが主でしたが、臨床実習ではそれらを実践的に活用するため、歯科医師としてのスキルを磨くことができます。

また、実習中心の5年次では、空き時間を活用し、自習室等での自主学習や試験対策に取り組むことに

なります。

松戸歯学部の大きな特徴は、教員と学生の距離が近く、コミュニケーションが活発なところ。分からないことがあれば気軽に相談できるため、疑問から理解までの段階をスムーズに進めることができます。

こういった環境の中で、実習を通じて専門知識だけでなく、実践力や柔軟な対応力も身に付けることができ、歯科医師を目指す歯学生としての成長を強く実感しました。

梅村 匡さん(6年次生)

学びの特色

Featured Learning

診療参加型臨床実習(SD診療)

付属病院を受診する患者さんの診療に参加し、歯科医療の実践力を培います。指導医のもとで、初診時医療面接と応急処置、診査・検査・情報収集と分析、総合的治療計画の立案、患者さんへの説明まで学生が行います。さらに、指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し、患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。



課題別臨床実習



6年次に実施され、各診療科で参加型臨床実習を行いながら、新5年次生に基本的臨床能力を指導することで自身の知識・技能・態度を見直し、より専門的な知識・技能・態度を統合的に修得します。

歯科医学総合講義6



診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師を目指して講義を行い、歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。

教員からのメッセージ

Message from the teacher

5年次では付属病院での臨床実習が始まります。ローテーションで各診療科に配属され診療に参加していきます。臨床の現場を見ることで、4年次までに学んできた内容について理解を深めることができます。見学や介補だけでなく、担当患者の診療では自ら治療計画を立て実際に治療を行います。知識や技能とともにコミュニケーション能力も求められ、臨床実習を通して医療人と

しての自覚が芽生えていきます。

6年次になると歯科医学総合講義6が始まります。松戸歯学部では歯科医師国家試験の傾向を分析し、国家試験対策となる講義を行っています。定期的な面談もあり、いつでも先生方に質問や相談をすることができます。また、放課後も使用できる学修スペースがあり、勉強に集中できる環境が整っています。

6年間という長い学生生活ですが、学生の皆さんには将来どんな歯科医師になりたいか思い描いて、夢を持って学んでいただけたらと思います。私たちはその夢を実現できるよう全力でサポートしていきます。

石井かおり 専任講師

